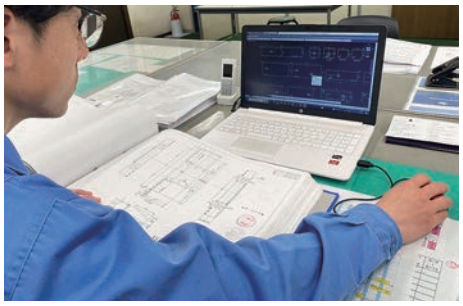
宮田鉄工株式会社

大型機械装置を製造する製缶＆機械加工の高い技術力と国内有数の設備で低コスト・短納期のものづくりを実現

想定分野　基礎製造（着床式・浮体式）❯ 大型製缶・機械加工



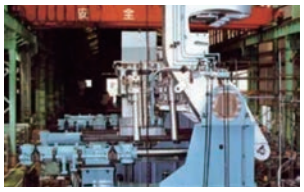
製鉄・製紙の生産ラインを支える大型製缶・機械加工

大型機械製造に特化した専門技術と設備を備え、製紙・製鉄の生産機械装置や運搬機械など、大型産業機械におけるオーダーメイドの受注・生産を行うことが可能。建物面積5,500㎡の工場内に製缶・溶接、機械加工、塗装、組立・試運転までを一貫してできる生産体制を整えており、低コスト、短納期にも対応している。機械加工においては、国内有数の大型五面加工機2台をはじめ、大型部品から小型部品まで生産できる工作機械設備が充実。設備能力とオペレーターの技術により、製品サイズに関係なく高品質な製品を作り出している。また、鉄と1.5㎜の薄型ステンレスを貼り合わせるライニング加工では、表層のみをステンレスとすることでコストダウンを実現。加工は熟練の職人が溶接を行い、美しく高精度な仕上がりが評価されており、耐錆性が求められる洋上風力発電での活用にも期待できる。

製造可能サイズ：高さ10m、横13m、長さ約60m、クレーンの吊り上げ能力：40t×3基（製缶、溶接、組み立てのパートに1基ずつ）、材質：鉄、ステンレス、アルミ

採用実績・施工例

製鉄会社の鋼材生産ラインに必要な機械装置



ホットコイルを反転させるアップダウンエンダー、土木・建築用の鉄筋を成型する異形棒鋼圧延機、連続電気メッキをするEGLラインなど、鋼材の生産ラインに必要な機械装置を製造。大型機械製造を専門的に扱ってきた高い技術と経験で、大手重工や製鉄メーカーからの信頼も高い。

製紙会社の生産ラインに欠かせない機械装置

家庭紙や用紙、段ボールなど、製紙会社において紙生産を行うための機械装置を納入している。抄造された紙の水分を抜く装置のプレスパートや、ロール紙の巻出し巾方向に切断巻き取りするワインダー&アンワインダー、紙の強度を高める世界最大幅のX-10ユニットなど。

主要設備機械

- 門型NC五面加工機：（最大値）テーブル3,500×8,000/加工H2,300×W4,100×L8,000、（最大値）テーブル3,000×12,000/加工H2,000×W3,600×L12,000
- 横中グリ盤フロア型：クイル径170φ、左右12,000、上下3,500、操出1,700（N/Cタイプ五面加工機）／1台
- ターニング：テーブル径2,500、サイド上下1,800、切削径3,500、高さ2,400／1台
- クレーン：40t／3台、30t／3台、20t／2台、10t／4台、2.8t／2台

会社情報

事業内容／一般産業機械（製鉄用、製紙用、運搬用、繊維用など）の設計・製造・組立及び据付、金属部品の加工（製缶、溶接、表面処理など）
所在地／〒791-0508　愛媛県西条市丹原町池田1004-1
設立／1955年1月　資本金／4,500万円　従業員／30名（2024年11月現在）
代表者／代表取締役社長　宮田 昂輝　TEL／0898-68-7024
事務所／西条市 首都圏担当／宮田 健治　TEL／0898-68-7024
E-mail／t-miyata@soleil.ocn.ne.jp
URL／https://miyatatekkou.com